

利用料金規定一覧

相模原市立東林ふれあいセンター

相模原市立ふれあいセンター条例（一部抜粋）

平成 11 年 12 月 22 日

条例第 33 号

(利用料金)

第 8 条 第 6 条第 1 項の規定により利用の承認を受けたもの(第 3 条第 1 項第 6 号及び同条第 2 項第 7 号に掲げる機能回復コーナーの利用の承認を受けた者を除く。)は、第 18 条の規定によりセンターの管理を行うもの(以下「指定管理者」という。)に対し、センターの利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納付しなければならない。

- 2 利用料金は、別表第 2 に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める。
- 3 利用料金は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。
- 4 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(回数利用券の発行)

第 10 条 指定管理者は、市長の承認を得て、券面額から割引をして得た額をもって当該券面額の回数利用券を発行することができる。

- 2 前項に規定する回数利用券により利用することができる施設は、第 3 条第 1 項第 7 号に掲げる施設とする。

(利用料金の不還付)

第 11 条 既に納付された利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

別表第 2 (第 8 条関係) (一部抜粋)

(全部改正〔平成 14 年条例 44 号〕、一部改正〔平成 17 年条例 32 号・20 年 43 号・27 年 57 号・令和 2 年 18 号〕)

(1) 基本利用料金

ア 相模原市立東林ふれあいセンター

施設		単位	利用料金
多目的室	多目的室 1	1 日(午前 9 時～午後 1 0 時)	3 , 4 0 0 円
	多目的室 2		3 , 4 0 0 円
	多目的室 3		4 , 5 0 0 円
工作室			3 , 9 0 0 円
会議室			1 , 6 0 0 円
陶芸窯室		陶芸窯での焼成 1 時間につき	3 0 0 円
ふれあい交流室	ふれあい交流室 1	夜間(午後 6 時～午後 1 0 時)	2 , 3 0 0 円
	ふれあい交流室 2		1 , 4 0 0 円
団らん室			

備考

- 1 陶芸窯での焼成時間が 1 時間未満のとき、又は焼成時間に 1 時間未満の端数があるときは、これを 1 時間とみなす。

(2) 加算利用料金

ア 第 3 条第 1 項第 1 号、第 2 号若しくは第 4 号又は同条第 2 項第 1 号から第 3 号まで、第 5 号若しくは第 6 号に規定する施設(以下「多目的ホール等」という。)を利用するものが、商業の宣伝、商品の販売その他これらに類する目的のために利用するときは、基本利用料金に 1 2 0 パーセントを乗じて得た額を加算する。ただし、商業の宣伝、商品の販売その他これらに類する目的のために利用し、かつ、入場料その他これに類する料金(以下「入場料等」という。)を 1 , 0 0 0 円を超えて徴収するときは、基本利用料金に 1 5 0 パーセントを乗じて得た額を加算する。

イ ア以外の場合で、多目的ホール等を利用するものが入場料等を徴収するときは、基本利用料金に次に定める率を乗じて得た額を加算する。

1 人当たりの入場料等の最高額	率
3 0 0 円以下	3 0 パーセント
3 0 0 円を超え 1 , 0 0 0 円以下	8 0 パーセント
1 , 0 0 0 円超	1 3 0 パーセント

(3) 延長等に係る利用料金

第 3 条第 1 項第 1 号若しくは第 2 号又は同条第 2 項第 1 号から第 3 号までに規定する施設のいずれかの利用の承認を受けた時間の延長又は繰上げの承認を得て利用する場合の当該延長又は繰上げに係る利用料金は、1 時間につき、当該利用に係る 1 日の基本利用料金の額(ただし、加算利用料金の加算がある場合には、これを加えた額)に 1 0 パーセントを乗じて得た額とする。この場合において、延長又は繰上げに係る利用の承認を受けた時間に 1 時間未満の端数があるときは、これを 1 時間とみなす。

(利用料金の納付時期)

第 9 条 利用料金は、利用の承認を受ける際に納付しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(利用料金の後納)

第 10 条 条例第 8 条第 3 項ただし書の規定により利用料金を後納とすることができる場合は、国又は地方公共団体が利用する場合その他指定管理者が特に必要があると認めた場合とする。この場合において、承認を受けた利用者は、指定管理者が指定する期限までに利用料金を納付しなければならない。

(利用料金の還付)

第 12 条 条例第 11 条ただし書の規定による利用料金の還付は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

- (1) 災害その他承認を受けた利用者の責めによらない理由により利用できなかったとき。 既納利用料金の 100 パーセント
- (2) 承認を受けた利用者が利用を開始する 30 日前までに利用の取消しの申請をし、指定管理者の承認を受けたとき。 既納利用料金の 80 パーセント
- (3) 承認を受けた利用者が利用を開始する 7 日前までに利用の取消しの申請をし、指定管理者の承認を受けたとき。 既納利用料金の 50 パーセント

2 前項の規定により利用料金の還付を受けようとする承認を受けた利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に還付の申請をするものとする。